

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり
「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成31年2月4日発行（第10号）

教員の授業力向上を目指して

平成30年度学力向上推進プロジェクト事業に係る授業力ブラッシュアップ研修国語科、算数・数学科重点校第2回授業発表会が開催されました。重点校での取組を参考にして、自校の授業改善を進めていきましょう。



《重点校》筑西市立中小学校（算数・数学科）10月25日（木）

2年生「かけ算九九づくり」：全体の個数を求める方法を乘法九九を活用し、工夫して考え、図と式を関連付けて説明することができる。

6年生「比例と反比例」：二つの数量が比例関係にあることに気付き、比例の性質を活用して問題解決の方法を説明することができる。

【文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 笠井 健一 調査官より】

- ① 友達の考えを聞きながら、気付いたことや分かったことを書き加えたり、グッドモデルを書き写したりする時間を確保すること。
- ② 本時の具体的なゴールの（児童の）姿を明確にして授業を展開するとともに、児童も「何ができればよいのか」「どのように説明できればよいのか」が分かる授業にしていく必要があること。



【図と式を関連付けて説明】

《重点校》八千代町立下結城小学校（国語科）11月21日（水）

6年生「優れた叙述に着目して、立松和平のいのちシリーズの魅力をお届けよう」（海のいのち）：作品の魅力をお届けするために、交流を通して、優れた叙述について自分の考えを見直すことができる。

【文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 伊坂 尚子 調査官より】

- ① 文章を書く時には、複数の条件を設定することで記述力が高まること。
- ② 交流する前に、一つの課題についてそれぞれの考えを出し合い、話し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりすることができること。
- ③ 根拠だけではなく、理由（解釈）を明確にすることが大切であること。



【フレインボードによる話し合いの可視化】



《重点校》坂東市立岩井中学校（国語科）12月11日（火）

1年生「登場人物の人物像に着目し、作品を読み深めたことをもとに感想をまとめよう」（少年の日の思い出）：物語に描かれている登場人物の行動や会話の描写に注意しながら読み進めることを通して、単元の導入で捉えていた「エーミール」の人物像について見直し、内容の理解に役立てることができる。

2年生『『走れメロス』の魅力に迫るために、内容についての感想を交流し合おう』（走れメロス）：『走れメロス』とシラーの『人質』を読み比べることを通して、登場人物の言葉や行動が物語の展開や作品全体に表れたものの見方などにどのように関わっているのかを考え、内容の理解に役立てることができる。

【文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター 黒田 諭 調査官より】

- ① 言語活動を通して、単元全体でどのような姿を目指しているのか、見通しをもつことが大切であること。
- ② 評価規準を、目指す生徒の姿を踏まえて、より具体的に設定すること。



【課題を解決するために互いの考えを伝え合う】

※3校の指導案及び授業研究会についての報告書は、教育情報ネットワーク上に掲載されております。

【生徒指導班より】 「いじめの重大事態対応マニュアル」の活用について

茨城県教育委員会より「いじめの重大事態対応マニュアル」が発行されました。いじめの重大事態への対応を具体的に分かりやすく整理し、教育委員会や学校が重大事態に適切に対応できるようにまとめられたものです。ぜひこのマニュアルを活用し、重大事態への対応の手順といじめ問題の深刻さの再確認を行い、いじめ未然防止の意識を高めていきましょう。

○「重大事態」の判断について

【重大事態の事例】いじめの重大事態対応マニュアルより

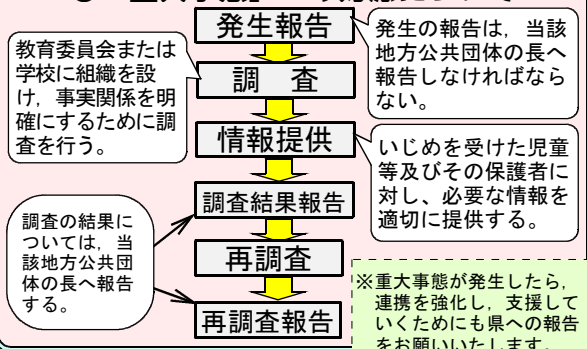
- ① 児童生徒が自殺を企図した場合
 - ② 心身に重大な被害を負った場合
 - ③ 金品等に重大な被害を被った場合
 - ④ いじめにより転学等を余儀なくされた場合
 - ⑤ いじめにより相当の期間欠席を余儀なくされた場合
- (※)被害児童生徒や保護者から「いじめにより重大な被害が生じたという申立てがあったとき」を含む。

これらを下回る程度の被害であっても、総合的に判断し重大事態と捉える場合もある！

「疑い」が生じた段階で調査を開始する！



○「重大事態」への対応について



八千代町立東中学校では、目指す生徒の姿を「大志をもち心身ともにたくましい生徒の育成」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。松葉 真弓 教諭は、保健体育の授業を中心に、仲間との豊かなかかわり合いの中で有能感を高め、運動やスポーツが“好き”で主体的に取り組むことのできる生徒の育成を目指し、指導にあっています。



【一手間一工夫のポイント】

～「できる」「わかる」「かかわる」が実感できる授業を目指して～

I 「できる」を実感するための工夫

①幅のある課題の提示

・自己やチームの現状に合わせ、選択したり、工夫したりする余地のある目標や課題を提示している。

②弾力的なルールや用具の工夫

・生徒の実態に応じてルールや用具を工夫することで、種目のもつ特性や魅力に触れ、運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう工夫している。

③記録の掲示

・記録の上位者や技能の伸びが大きかった生徒を紹介し、多くの人が頑張りを認め、称賛できるような環境をつくっている。

成果 ◇能力に応じた目標を自己決定することで、活動への意欲を喚起し、主体的に取り組めるようになってきた。
◇対戦チーム同士で話し合い、仲間の技能や体力の程度、用具や施設の状況に合わせて調整し、協力しながら活動する姿が見られた。
◇授業では一緒に学ぶ機会がない他学年の生徒とも、記録を競い合ったり、認め合ったりしていた。

II 「わかる」を実感するための工夫

①ポイントの理解

・生徒の模範や教師の失敗例を示しながら違いを発見させたり、視覚的に理解できるような掲示物を活用したりして、学習のポイントを明確にしている。

・技能のポイントやコツを言葉でまとめる場面を設けている。

②知識、技能を活用した評価問題の作成

・つまずきや問題点に対し、どんな助言、解決策が考えられるか記述したり、作戦を図で示したりする問題を出題している。

・学習した単元の“魅力”についての出題をすることで、楽しさや喜びを見いださせ、意義や特性、体力の向上に果たす役割(体育の見方・考え方)を自分なりに捉えることができているか確認している。

成果 ◇生徒の感性の中から生まれたオノマトペ(例:「ドーン」「シャーン」)等を活用することも、技能のポイントを理解し、まとめる上で有効であった。
◇知識を活用する評価問題を出題し、実技だけでは評価しにくい思考力・判断力・表現力等の評価に生かすことができている。

III 「かかわる」を実感するための工夫

①温かな人間関係の構築

・授業では、「かかわる」ことを大切にしている。終末では、活動内容に加えて、仲間との関わりについても振り返る時間を設けている。

・お互いの良さを認め合うために、活動前にどんな場面でどんな言葉をかけてほしいかを伝え合ったり、活動後にMVPを選出したりするなど、安心して授業に臨むための雰囲気づくりを目指している。

②学習形態の工夫

・球技の単元では、活動全般で協力し合う「兄弟チーム」を編成し、ゲーム中の触球回数や攻撃の成功回数を相互に記録している。

成果 ◇仲間から見てもらえることで、応援や称賛される場面が増え、楽しさや喜びを感じることができた。
◇兄弟チームで課題を確認し、改善策を考えることができた。

【松葉教諭から】

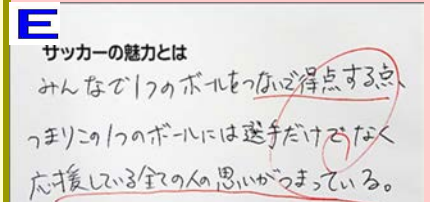
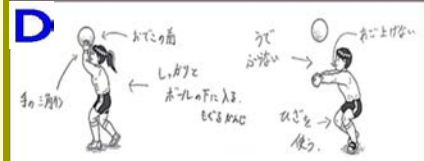
保健体育科の目標である「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力」を育むためには、授業を通して体育やスポーツが“好き”な生徒を育てることが大切であると考えています。

「できること、わかること、多様にかかわること」をバランスよく取り入れながら、それぞれの種目のもつ特性や魅力、楽しさや喜びを味わうことのできる授業を目指していきます。多様なスポーツの楽しみ方を共有できるよう、学び続けていきたいと思えます。

《I 「できる」》



《II 「わかる」》



《III 「かかわる」》



【人事課からのお知らせ】

○今年度の「働き方改革」についての検証

- ・取組の効果と次年度に向けての改善点 (「必要性の低い仕事をやめる」決断を！)
- ・教職員一人一人の意識改革の徹底



○進路事務の適正な処理

- ・各学校の進路事務取扱要項等に基づいたチェック体制の点検・整備
- ※いつ、誰が、何を、どのように確認するのかを明確にする。
- ※管理職のマネジメントや進路指導委員会のチェック機能を果たす。

○交通事故防止

- ・速度超過や路面凍結等による事故の防止 (余裕をもった出勤を心がける。)

